

CAT[®] CLUB

2024

NO.

125

お客様見聞録 >> File 26 株式会社サンノウ興業

圧倒的スピードで首都の土を運ぶ。
百年先を見据えた礎を築くために。



CAT[®]

Team Caterpillar

ICT Instructor



小倉麻花は、地元の建設会社から日本キャタピラーに転職して丸3年。全国に20数名を擁する営業支援課のメンバーの一人として、愛知県の安城営業所を拠点に、東海4県のセールスをサポートしている。彼女が得意としている分野は、入社以来携わってきたICT建機。日々進化する最先端の技術を学び、自ら機械を運転して検証を重ね、実際の操作で得た知識をわかりやすく伝えて、お客様の信頼を獲得している。ICT関連のセミナーの講師を任されて遠方に出張する機会も多く、展示会では、マシンを美しく見せるための角度や並べ方にこだわる。前職では、工事現場の事務所の前を片付け、プランターを飾った。街に咲き誇ったパンジーなどの花々は、人々からも評判を集めた。現在は、大好きな建設機械に囲まれた環境でスキルアップに励み、お客様の未来を咲かせるためのお手伝いをしたいと考えている。

両親が建設関係の仕事をしていて、幼い頃から現場によく連れて行ってもらいました。力強い油圧ショベルがお気に入りです。「私も動かしてみたい!」という憧れは大きかったです。18歳になったら当たり前のように車両系の免許を取りました。

高校で土木を学び、入社した建設会社では施工管理や念願のマシンオペレータを経験しました。日本キャタピラーに転職したのは、もっと建設機械を深く知って究めたいと思ったからです。

当初はICTの専門知識はゼロでしたが、周りの方々に教えていただきながら少しずつ知識を増やし、現在ではその知識を生かした提案や資料がお客様にご活用いただけることにやりがいを感じています。先輩方やお客様に支えられ、感謝の気持ちは尽きません。

仕事でのモットーは「ちりも積もれば山となる」。まだ経験が浅いからこそ、どのような業務も丁寧に調べながら取り組んでいます。ひとつひとつの過程を大切にしながら継続することが、スキルアップにつ

ながるのだと信じています。

だからこそ、機械に新しい機能が追加されたりお客様から問い合わせがあったりしたら、時間の許す限り自分で動かしてみ、徹底的に検証します。実践してみないと伝えられないこともありますし、建設機械に乗るとやっぱり気持ちも楽しくなりますね。

印象に残っているのは、商談の段階で私が説明を担当したお客様です。そのお客様が試乗された際、自分の説明が最後の一押しとなり、ご注文をいただくことができました。これからも、お客様には正確な情報を迅速に提供できるように精進し、サポートが必要な時には任せていただける存在になりたいと思っています。

そのためには、i-Constructionの講習説明者の資格を取得し、さらに建設業や機械に関わる幅広い知識を身につけていくつもりです。将来は母のように、出産してからも仕事を続けたいですし、建設に関わる業界の中で女性が生き生きと働くロールモデルとなるよう、後に続く人たちへ「私にもできたよ」という姿を見せたいですね。

「建設機械への愛と、自ら得た知識をひとつひとつ丁寧にお客様へ伝えたい」



日本キャタピラー
営業支援部 営業支援課

小倉 麻花
Asaka Ogura

LET'S DO THE WORK.™

From the WORLD



Republic of South Africa

キャタピラーの最新ソリューションの1つであるVisionLink®はさまざまなデータに基づく効率的な車両管理を可能にした。しかし、その恩恵は思わぬところにも及んでいる。南アフリカで深刻化している、ある問題への対処に際してVisionLinkが大いに活躍した。

キャタピラー、完全勝利！ 窃盗犯をシャットアウト！

新型コロナウイルスによるパンデミック以降、南アフリカでは建設機械の盗難が激増している。その状況に、素早く毅然と向き合ったのがPentacon Plant社である。同社は捜査当局と連携し、さらに最新技術を活用することで、盗難車両をわずか数日で取り戻すことに成功した。

2023年4月、南アフリカのリンポポ州ターフェルコップにある建設現場に車両窃盗グループが

侵入した。彼らはバックホーローダCat® 426Fの追跡装置を解除し、レッカー車に積み込んだ。これで逃走の準備は万端だと思ったに違いない。しかし、窃盗犯にとって不運だったのは、その機械が地元のCatディーラーBarloworld Equipment社のサポートを受けており、最新版のVisionLinkに接続されていたことだ。

Cat 426Fの盗難が確認されるやいなや、Barloworld Equipment社のプロダクトマネージャー、Jaco du Plessisのもとに連絡が入った。知らせてきたのは、Tradelog Investigation Services社の保険調査員、Tyron Gardinerである。プラントや機械の追跡調査を専門とするTyronは、ディーラーにある機械からより多くのデータを取得できる可能性があることを知っていた。うまくいけば、保険会社は8万ドルの保険金支払いを回避できるかもしれない。Tyronは言う。「本来、VisionLinkは盗難を防ぐ目的で開発されたものではありません。しかし過去の実績から、盗難対策としても非常に役立つことがわかっていました」

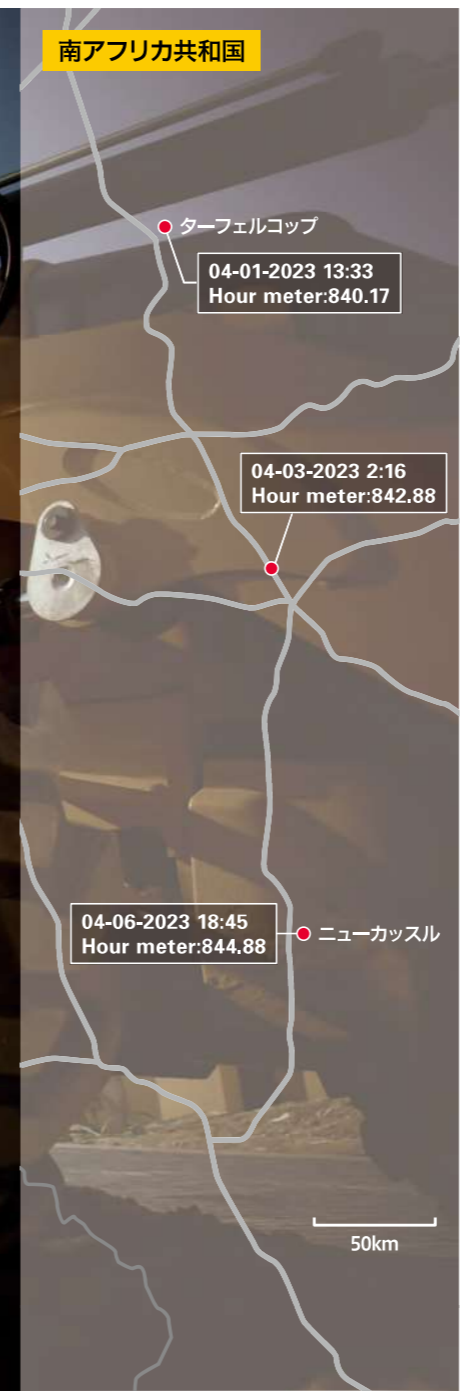
Jacoに確認すると、盗難車両には確かに

VisionLinkが搭載されていた。「そこで、私はディーラーのサービスポータルにアクセスして該当機の利用サービスを変更し、お客様が設定した1日1回ではなく10分ごとに更新するようにしました」

これで盗まれたCat 426Fの追跡が可能になった。盗難車両は日が暮れると停止し、午前2時頃に再び動き出していた。それから3日間、この車両は500km以上走行した後、ニューカッスルで動きが止まった。VisionLinkによってその場所の正確な座標が特定されると、そこは倉庫だった。そして南アフリカ緊急警察隊が現場に向かい、倉庫を開け、無事にCat 426Fを発見することができたのである。

Jacoは喜びを隠せない様子でこう話す。「機械の盗難が横行している中、窃盗犯を打ち負かす秘密兵器があるというのは本当に心強いです」

盗まれたマシンは「冒険」を終え、元通りの姿で本来の所有者のところへ無事に戻ってきた。この記事が掲載された後も、JacoとTyronは手を組んで2台の盗難車両(Catバックホーローダ)を奪還したということだ。



キャタピラーが紹介するカスタマーストーリーはこちら。



VisionLink (ビジョンリンク)

詳しくはこちら

VisionLinkは、マシンの大きさやメーカーに関係なく、パフォーマンスを最大限に引き出すためのさまざまなデータに基づいて車両管理を効率化するクラウドベースのソフトウェアアプリケーションです。VisionLinkを使用すると、デスクトップまたはモバイルデバイスに直接車両データを受信することができます。



作業現場の安全性	稼働時間の最大化	効率の最適化
実用的なテレマティクスデータを取得し、1つのインターフェイスから複数種類のOEMマシンを管理。位置、稼働時間、燃料レベル、全体的な稼働率を追跡します。	装置の状態、故障コード、液体分析、点検期日を監視。重大なアラートで突発的な休車時間を減らします。プラットフォーム内で部品の注文と、定期メンテナンスを計画できます。	プロジェクト、グループ、ジオフェンスを使用して資産を管理。稼働率の目標を設定し、パフォーマンスを監視します。情報とデータに基づいた意思決定を行い、オペレーティングコストを削減します。



写真上:「誠意・実行」をモットーに掲げ、今のお客様や従業員を大切に考えておられる佐々木浩二社長。
 写真下左:浩二社長の弟で専務取締役の佐々木浩様。
 写真下右:本社近くのストックヤード。

株式会社サンノウ興業

代 表 者 : 佐々木 浩二
 本 社 所 在 地 : 東京都大田区大森北1-23-7 NAVALビル7F
 設 立 : 2000年
 従 業 員 数 : 100名
 事 業 内 容 : 土木工事、残土処理、建設機械及びダンプカーのリース
 URL : <http://www.sannoukogyo.co.jp/>

お客様
見聞録

File 26

株式会社サンノウ興業



圧倒的スピードで首都の土を運ぶ。 百年先を見据えた礎を築くために。

首都圏では、マンションや商業施設など、膨大な数の建設工事が連日行われています。課題となっているのが、工事現場で発生した残土をどこに運んでいくか。処理場の不足が深刻な状況下で、近年さらに存在感を増しているのが、東京など首都圏5カ所に残土のストックヤードを構えるサンノウ興業様です。代表取締役の佐々木浩二様と、専務取締役で弟の佐々木浩様に、現場での掘削から残土処理まで自社で一貫して遂行することへのこだわりや、キャタピラーの建設機械に求める役割などについて伺いました。

山王の地で、兄弟2人から始まった物語 創業当初より続くキャタピラーとの信頼関係

東京都の23区で最も南に位置し、羽田空港を擁する大田区。その名前の「大」は「大森」、「田」は「蒲田」から取ったものです。区の一つである大森エリアでは、明治初めに新橋～横浜間の鉄道開通に伴い、1876年に現在のJR大森駅が開業。駅西側の山王は高級住宅街として開発が進みました。

翌年には、駅北側の線路沿いで発見された「大森貝塚」から、縄文時代の土器などが発掘されました。大森の名前は、日本の考古学の発祥の地として知られています。

それから120年以上の時を経て、掘り起こした土を運ぶという建設・土木で重要な役割を担う企業を、大田区で生まれ育った佐々木兄弟が創業したのは2000年。サンノウ興業様の社名は、創業の地・山王が由来です。

「2人で独立しようと、私と弟がそれぞれのダンプカー2台で始めた会社です。最初の頃は仕事がない日もあり、できる仕事をとにかく

引き受けました。新しい車両や機械は現金で買うしかなかったので、20代の間は2人でひたすら働きました」

社長がまず目指したのは、残土処理を任せてもらえるのに十分な設備を自前で持つことでした。すなわち、ダンプトラック、ストックヤードと呼ばれる中間処理場、そして建設機械。この3つをバランス良く揃えることによって、一括して仕事を受け入れることができると考えたのです。

数年経って事業が軌道に乗り始め、念願の建設機械を中古で購入することができました。1号機はキャタピラーの8トンクラスのミニ油圧ショベル。修理などのサポートを通じて、本格的にサンノウ興業様とキャタピラーのお付き合いがスタートしました。

「機械自体もパワーがあり、ブームやアームも丈夫なので気に入ってました。キャタピラー販売店から直接買ったわけではないのに、しっかりとサポートしてくれて。その後、新しい機械を買い続けるようになったのは、古川さん(現 日本キャタピラー 東京西営業所 営業部長)との出会いが大きいです」と社長。専務も「小さい会社なのに、創業当初からとても大事にしてくれました」と振り返ります。



住宅地のマンション工事現場で作業を行う308 CRと301.7 CR。



オペレータの広瀬嘉様。

現場用やストックヤード用のショベルを次々と購入し、会社も順調に成長を続け、現時点で建設機械の数は67台。その約半数がキャタピラー製品です。残土処理の業務はダンプトラックが主役で活躍するイメージがありますが、ダンプトラックや回送車はほぼ同数の計74台。サンノウ興業様で建設機械が重要な役割を果たしていることが数字からもわかります。

「ここまで成長できたのはキャタピラーさんのおかげ」と社長が話されるように、キャタピラーと固い信頼関係を築いてきました。ダンプトラックや回送車の購入においても、古川部長からの紹介を受けて、三菱ふそうの製品を使うようになったとのこと。2019年には同社がキャタピラーに協力を形で、Cat 320の体験試乗会をストックヤードで開催しています。

残土処理に油圧ショベルを積極的に活用 都市部ならではの静音性のニーズも

専務にご案内いただいたのが、目黒区内の住宅地にあるマンション新築工事の現場。基礎を築く前の根伐工事もサンノウ興業様が請け負っており、Cat 308 CRと301.7 CRが稼働していました。

ダンプトラックが現場に到着すると、ロングアーム仕様の308 CRがアームを地下に深く下ろし、土をバケットですくってダンプトラックへと積み込んでいきます。驚くべきはそのスピードで、止まることなくブーム・アームの上げ下げや旋回を繰り返し、動きも非常にスムーズです。5分ほど経った頃には、荷台を満杯にした7トンダンプトラックはストックヤードへと出発していました。1日に15～

20台の車両が入りし、100m近い残土を搬出するそうです。

308 CRを運転していた広瀬 嘉様は、オペレータ歴約30年のベテラン。スピーディな作業が可能な秘訣について「機械自体の動きも速くなっていますが、特に意識はしていません。安全第一で無理をしないことが大事」と語っていました。

東京の現場は、敷地が狭くて入り組んでおり、隣の住宅との距離が近いのが特徴です。「308は足回りが強くて、狭いエリアでの旋回も得意。エンジン音も静かで近隣に迷惑をかけることは少ないと思います」と広瀬様。キャタピラーの機械全般については、長時間乗った時の疲れにくさや、安定してパワーが発揮できることを評価されていました。

また、矢板が張られた地下では、301.7 CRが土をかき集め、308 CRが運びやすいようにまとめていました。細かな作業にミニショベルを活用することで、効率的な土の搬出を可能にしています。

広瀬様は普段、他の現場ではアームが伸縮するスライド機に乗ることが多いそうです。都心部では10m以上も深く掘る現場が多く、サンノウ興業様でも10台以上のスライド機を保有しています。転倒しないようにオペレータの技術が求められますが、キャタピラーの最新機能で、フットペダルで操作していたアームの伸び縮みもジョイスティックのサムホイールでできるようになりました。

続いて訪れたのは、先ほどの現場の土が運ばれた本社のストックヤードです。環状7号線に面し、各現場からのアクセスが良く、1日に出入りするダンプトラックは平均200台。Cat 325と2台の315が待機し、残土の現場からの受け入れや、行政の許可を受けた特定

事業場などへの搬出を行っています。

ダンプトラックが到着し、土の積み下ろしや積み込みを行うと、休む間もなく次の目的地へ。ここでもCat 315が活躍し、まるで自動車レースのピット作業を見ているような圧倒的なスピードで、車両を送り出していきます。

残土のストック場で屋根のあるのは珍しく、土を濡らさずに品質を維持すると同時に、周囲への騒音やホコリなどを抑えるメリットがあります。敷地には音量と振動の測定器が設置され、周辺環境に配慮して作業が進められます。

大田区京浜島のストックヤードも屋内型で、都内最大級の残土受け入れ量を誇ります。こちらは大型の車両も受け入れることができ、Cat 330のほかにも910Kも活躍。お客様に販売する砕石や山砂も、いつでも運び出せるように準備されています。

「私自身も、不要な音を立てない静かなショベルの乗り方を追求していました。キャタピラーさんから機械を買う時には、静音性能をリクエストしたり提案していただいたりしています」と専務は話します。地域との距離が近い都市部では、環境への細やかな気配りが事業の継続・発展のカギを握っています。エコアクション21[※]の認証も、近く取得する見込みです。

機械が増えることは純粋な喜び オペレータが快適に末永く働くことができる環境を

社長が創業以来ずっと大切にしてきたのが「依頼された仕事は100%断らない」。その理由について「そもそも当社を選んできたからには、できる限りそれに応えて、お客様と長くお付き合いさせていただきたいのです」とご本人は説明されます。

依頼は建設会社や土木会社だけでなく、同業他社から受けることも多くあります。「困った時は助け合っていないと。うち1社だけでは絶対に成り立たない仕事ですから」という社長の言葉通り、同業他社はライバルでありパートナー。車両やヤードをお互いに融通しあって横のネットワークを築くことは、自社のアドバンテージにもなります。

数多くの現場に100台以上のダンプトラックや建機の配置と進行管理、加えて5カ所のストックヤードの残土堆積量の把握や、全体

の翌日以降のスケジュールリングなどを専務が中心となって行っています。稼働率を上げることは利益に直結するので「配車チームの皆と一丸となり、総力を挙げて臨んでいます。その中で繁忙期にお客様のご要望通りの手配を実施できたときは、特にやりがいを感じる瞬間です」と専務は語ります。

都内にストックヤードがあると機動力に直結するのですが、建設するにはコストが非常にかかってしまいます。「2017年に京浜島のストックヤードを新設することができたのは、社長の大胆な発想と決断力であり、それが現在の会社の成長につながっている」と専務は続けます。

経営者としての胆力を持つ兄と、緻密に事業を動かす弟。まさにサンノウ興業の両輪である2人は子どもの頃から“はたらくクルマ”が好きで、この仕事を選んだのも自然の流れ。会社が成長して利益を上げると同時に、機械や車両が増えることには純粋な喜びも感じているそうです。「売り上げはもちろん大事ですが、当社を選んでくれた従業員のためにも、会社を長く続けることが一番」と社長。施設を整備することは、会社を百年先も受け継いでもらうための礎になると考えています。

業界全体で高齢化や人手不足が進む中で、サンノウ興業様が重点的に取り組んでいるのは、今いる従業員に末永く働いてもらうための取り組み。待遇面の向上のほかに、何でも話し合える職場環境の整備を進めています。

同時に建設機械などに求めているのが、オペレータが年齢や経験に左右されずに、安心して作業を進められることです。現時点で同社におけるICTの活用は、アームが屋内の天井を超えないように制御する機能などにとどまっていますが、今後は環境性能も重視していく方向です。オペレータの健康のため、エアコン機能などの導入もさらに進めていきます。

キャタピラーでは、マシンの性能の向上はもちろん、オペレータの方々が安全で快適に作業できる環境を整えることによって、ベテランから若い人までが現場で働き続けたいと思えるような製品の提供を目指していきます。

※ 環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム



現場の進捗について話し合う浩専務(左)、目黒圭資営業部長(右)と日本キャタピラー 小宮セールス(中央)。



2017年に新設された京浜島ストックヤード。



お客様の成功をサポートする

Financial Solution × Exceptional Experience



キャタピラーファイナンス CAT® CARD ゼロ金利キャンペーン

Cat Cardはキャタピラーファイナンスが提供している
部品購入、修理・サービスのお支払い専用口座です。
Catマシンの販売・サービスを行う日本キャタピラーの
全拠点でご利用いただけます。
入会金&年会費は無料で、最大36回までの分割払いが可能。
便利でお得なCat Cardをぜひご利用ください。



Cat Card会員様向け
特別金利プログラム

2024年12月まで ゼロ金利キャンペーン

今なら
もっとお得!



●リビルド向け24回払いまでゼロ金利!

●一般修理・部品向け12回払いまでゼロ金利!

リビルド向け 低金利プログラム

利用対象:
リペアオプション、
CAT認定リビルド、
ディーラマシンリビルド

●お客様向け金利

期間	1年	2年	3年
支払回数	24回払まで		25回払~36回払
金利	0% (ゼロ金利)		1.8%

一般修理・部品向け 低金利プログラム

利用対象:
Catマシンの部品、
一般修理、
CVA料金のお支払い

●お客様向け金利

期間	1年	2年	3年
支払回数	12回払まで	13回払~24回払	25回払~36回払
金利	0% (ゼロ金利)	2.5%	3.5%



◎Cat Cardのお申込みおよびプログラムのご利用条件につきましては、Catマシン販売店の
日本キャタピラー担当セールスマン、キャタピラーファイナンスまでお問い合わせください。
◎九州・四国地区においても同様のアフターサービスファイナンスプログラムを展開しており
ます。内容につきましては若干異なりますので、販売店担当者までお問い合わせください。

Good Support! Good Work!



320D RR リビルド車両を「CSPI-EXPO 2024」に展示



320D RR リビルド車両展示の様子

「リビルド」とは、適切なタイミングで主要コンポーネントを再生し、
耐用期間をリセットすることにより、
機械をより長く使用できるソリューションです。
サービスの提供開始から35年以上、すでに25,000件以上の実績を有し、
全世界のお客様から高い評価と信頼を集めています。

今号では、「お客様にリビルドした車両を実際に見ていただきたい」と
実施したリビルドの一例として、5月に幕張メッセで開催された
「CSPI EXPO 2024(建設・測量生産性向上展)」で展示した車両を紹介します。

「CSPI-EXPO 2024」については、P14「Topics」をご覧ください。

11年間稼働したレンタル車両のリビルド

今回展示した320D RRは11年間、7,585時間稼働
したレンタル車両です。リビルドの詳細は、エンジン・
ポンプの交換、シートベルトリマインダと人検知機能が
搭載された後付けカメラ Cat® Detect with
スマートカメラの搭載、そしてAdvansys システム*
への変更を行いました。シートベルトリマインダとは、
シートベルト未装着状態の時に運転席内に警告音を
鳴らし、車両外部からはパトランプでシートベルトの
装着状況を確認できる技術です。また、Cat Detect
with スマートカメラでは、車両後方の状況を後付け
カメラとモニターで確認することができます。

* Advansys システム…特別なツールを使わなくてもハンマーレスで
チップを素早く取付けや取外しできるCAT独自のチップ交換システム



Before

320D RRリビルド前

After
Cat Detect with スマートカメラの
搭載とAdvansys システムへの変更を
したリビルド後の320D RR

素早く作業の切替えを可能にするCAT ADVANSYS™ GET*

*GET…Ground Engaging Tools



また今回は、油圧ショベル用と一緒に、ホイールローダ
用のAdvansys チップの模型も展示しました。来場者
の皆様にも模型を利用して実際の取り付け、取り外しの
作業を体感していただきました。
小型・中型ショベルの仕上げ整地作業用に開発されたCat
Advansys エッジは、Cat独自のバケットチップ保持
システムであるCat Advansys アダプタの高負荷の掘削
作業用のチップから、素早く、簡単、安全に取り替えること
が可能。ハンマーを使わずに汎用工具で取り付け、取り外し
が行えることに多くの来場者が注目していました。

さらに詳しいCat認定リビルドについてはこちら。



運転支援機能、安全・快適装備が充実の次世代マシン

Cat® 926/930/938 ホイールローダ



	926	930	938	
運転質量 (kg)	12,150	13,950	15,150	16,550
バケット容量(m³)	2.5	3.0	3.0	3.4
常用荷重 (kN)	3,650	4,500	4,800	5,100
定格出力/回転数 (kW/min ⁻¹)	122 / 1,800		137 / 1,800	
タイヤ	20.5-25 16PR パイアスタイヤ	20.5-25 16PR パイアスタイヤ	23.5R25 ラジアルタイヤ	



■ パワーとエコを両立するオートエンジンモード

高負荷に対応するパワー重視のパワーモードと、燃費重視のスタンダードモードの2種類からモード選択が可能です。また、負荷に応じて最適なモードを自動で切り替えるオートマッチモードも備えています。モードの切替はモニタでできます。

■ タイヤのスリップを軽減するオートホイールトルク機能

作業負荷や現場状況に応じて、けん引力を自動で制御し、スリップを低減するオートホイールトルクを搭載しています。作業効率のアップやタイヤ寿命の延長に貢献します。マニュアルで調整する場合は、モニタで5段階のけん引力を選択できます。

■ 疲労軽減 ジョイスティックステアリング (オプション)

左ジョイスティックレバーを左右に倒す簡単操作でステアリング(左右操向)が可能で、ジョイスティックステアリングをオプションで設定しています。レバーの操作力(抵抗)は車両速度に応じて最適な重さに自動で調整され、車両速度が速い場合はレバーの抵抗は大きく(重く)、遅いときは軽くなり、安全で快適な操作が可能です。また、楽な姿勢での操作で疲労が軽減されます。丸ハンドル、フロントの計器類がないため(計器類は新型モニタに集約)、優れた前方視界が得られます。



ジョイスティックレバー 視界が開けた運転席

■ 現場・作業にあわせ選択できるパワートレインモード

- トルクコンバータ**
ブレーキを離すと車両が動き出す「トルコン車」の動きを再現したモード
- ハイスタット**
アクセルワークだけで自在な加減速が可能な「HST車」としての動きが可能なモード
- ユーティリティ車両**
作業機の動きを任意のエンジン回転数を維持できるスロットルロックで制御し、走行のアクセル操作に集中できるモード。走行を伴うきめ細かな作業やワークツール作業に最適
- 氷**
凍った路面や固く締まった雪路面でスリップを抑制するモード

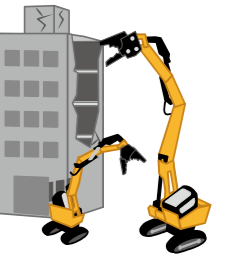
■ Cat 938 3.4m³ バケット仕様をラインアップ

Cat 938にヘビーカウンタウェイト、23.5R25ラジアルタイヤを装着した、3.4m³バケット仕様をラインアップ、18トン級除雪ドーザとしても新たに導入します。14トン級除雪ドーザは、引き続きCat 926で対応します。



海外から就業する方に役立つ資格取得の話

日本の人口は減少に転じており、それに伴い、日本人の働き盛り人口も減少しています。一方で、高度成長期のインフラが老朽化し、現場は増加傾向にあります。そのため、現場を支える海外出身労働者の安全作業を守るための資格取得が重要性を増しています。今号では外国人の資格取得に関する情報をご紹介します。

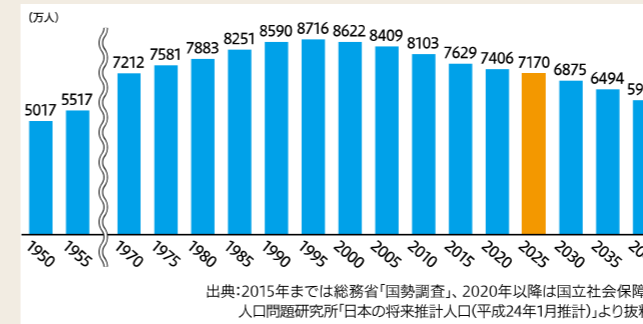


減少し続ける働き盛りの日本人

1990年代後半をピークに働き盛りの日本人(15~64歳人口)は減少しており、その傾向は今後も続く見込みです。企業を持続可能なものとするためには労働力の確保が喫緊の課題となっています。



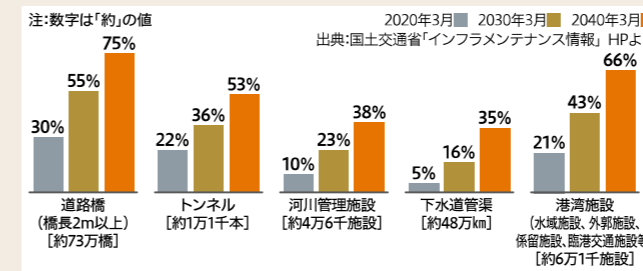
■ 15~64歳日本人の人口推移



インフラの老朽化で仕事は増加

高度成長期に構築したインフラ、たとえば水道管や病院・学校などの建物が老朽化し、スクラップ&ビルドの仕事は増加しています。ビジネスチャンスが広がる一方で、仕事を確保するためには海外からの労働力確保とその環境整備が求められています。

■ 建設後50年以上経過するインフラの割合

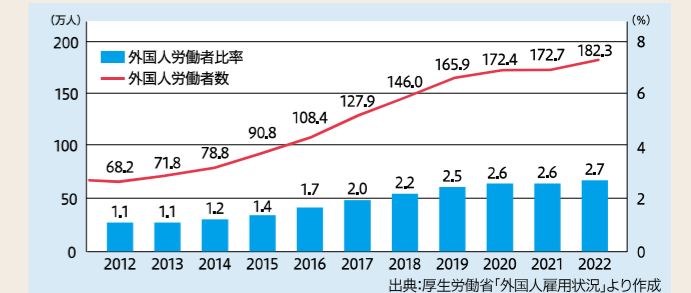


国籍・人種が多様化する日本の現場

今後、日本の現場を支える人材の多様化はさらに進むと予想されます。そんな中、海外出身の労働者が安心して作業できる資格を取得することは、経営者の責任となっています。そのための機会提供も特に重要です。



■ 外国人労働者数と外国人労働者比率



キャタピラー教習所では各外国語講習の受講で資格取得が可能

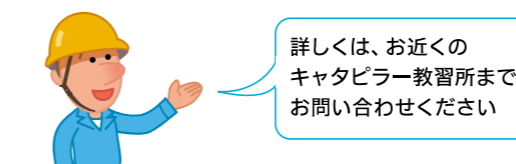
労働局長登録の技能講習を中心に、同時通訳を交えながら、短時間の延長で技能講習資格を習得可能です。

開催している技能講習				
車両系整地	車両系解体	不整地運搬車	フォークリフト	玉掛け
床上クレーン	小型移式クレーン	高所作業車	ガス溶接	

対応している外国語講習			
ベトナム語	英語	中国語	ミャンマー語
ポルトガル語	インドネシア語	カンボジア語	タイ語

開催している教習所			
札幌(北海道)	深谷(埼玉)	豊橋(愛知)	名古屋(愛知)
茨木(大阪)	小野(兵庫)	廿日市(広島)	

キャタピラー教習所では、全国7教習所で8カ国語の講習を提供しています。通常講習と同等の環境で通訳を交えてしっかりと資格を習得できます。受講希望を伺いながらの開催となりますので、ご希望の言語、開催時期、開催場所についてはお問い合わせください。



詳しくは、お近くのキャタピラー教習所までお問い合わせください

外国人のスキルアップにも協力致します

キャタピラー教習所では、外国人評価試験の試験会場提供の他、外国人の建設機械スキルの上にもご協力します。ご希望をお聞きしながら進めますので、ぜひお声がけください。



技能講習・安全教育のご用命はこちらまで / **キャタピラー教習所株式会社**

本 社 : 〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-1
TEL 0467-73-1221 FAX 0467-73-1211
ホームページアドレス <http://cot.jpncat.com>

詳細は

キャタピラー教習所





主な展示内容

■屋内ブース

- ・VisionLink
- ・Cat Commandステーション (油圧ショベルとブルドーザを遠隔で操作)
- ・油圧ショベル 320
- ・ブルドーザ D5
- ・油圧ショベル 320D RR リビルドマシン
- ・パケットチップやフィルタなどのサービスソリューション

■屋外ブース

- ・ミニ油圧ショベルの遠隔操作 303 CR with Cat Command コンソール
- ・油圧ショベル 308 SR with アドバンスドアシスト
- ・油圧ショベル 315 with チルトローテータ+アタッチメント

次世代マシンが注目を集めた 当日の様相をレポート!

キャタピラーは、2024年5月22～24日に幕張メッセで開催された「CSPI-EXPO^{*1}」(建設・測量生産性向上展)に出展。「あなたと共に、明日の世界をつくる。」をテーマに掲げ、お客様の現場に役立つサステナブルなテクノロジーとソリューションを中心に、次世代マシンなどの展示を屋内ブースと屋外で行いました。

“Technology”ブースでは、VisionLink[®]の紹介とCat[®] Commandステーションを設置し、埼玉県D-Tech Centerで稼働する油圧ショベル320とブルドーザD6の2台のCatマシンを遠隔操作できるようにセッティング。お客様は興味深そうに足を止めて説明に耳を傾け、遠く離れた場所にあるマシンの遠隔操作を体験されていました。

“Services”ブースでは、11年間稼働後にリビルドした320D RR車両を展示(詳細はP.11)。CAT[®] CARD、GET^{**2}やCVA^{**3}などのサービスの紹介をしました。また、人気のCatロゴ商品の販売コーナーも設置し、帽子やTシャツ、スケールモデルなどを買い求めるお客様でにぎわいました。

屋外会場では、チルトローテータを装着した315や308 SRアドバンスドアシストのデモンストレーションを実施。遠隔操作体験コーナーでは、400m離れていても運転できる303 CRの操作性をお客様に実感していただきました。



人気のロゴ商品も勢揃い!

*1 CSPI...Construction & Survey Productivity Improvement *2 GET...Ground Engaging Tools *3 CVA...カスタマーバリュー契約



埼玉にあるマシンを千葉の会場から遠隔操作



308 SRアドバンスドアシスト仕様



チルトローテータを装着したマシン315



CAT NEXT GEN MINI EXCAVATORS 301.7-308 特別金利キャンペーン実施中

Cat次世代ミニ油圧ショベルは、高レベルの制御性、快適さ、性能を実現しています。1.7トンから8トンクラスのラインナップを展開し、業界初の機能やテクノロジーを多数搭載しています。

- 作業機チューニング機能で、作業に合わせた操作性に設定が可能
- エアコン付き加圧密閉式キャブで、空調管理された環境で快適に作業
- Catスティックステアで、現場での走行やブレード作業を楽に
- Catクルーズコントロールで、ブレード作業の効率を改善

これらの先進技術をお客様に実感いただくためのWebサイトをCat.comに開設しました。2024年11月末までにWebサイトからお問い合わせいただいたお客様向けに、特別金利で機械を購入できるキャンペーンを実施中ですのでぜひご覧ください。



キャンペーンの詳細はこちら。 >>>

PRESENT ご愛読者プレゼント

「CAT CLUB No.125」のご意見、ご感想をお寄せください。抽選でCatグッズをプレゼントいたします。

308 CRミニ油圧ショベル 1/50スケールモデル5名様

ご当選者には、セールスマンが賞品を直接お届けいたします。

当選結果に関するお問い合わせ等にはお答えできませんのであらかじめご了承ください。

お届けの賞品が見本と異なる場合がございます。



〈応募要領〉
必要事項を記載いただき、下記メールアドレス宛にご応募ください。

■お名前 ■ご住所 ■連絡先のお電話番号 ■会社名
■ご希望のプレゼント ■「CAT CLUB」へのご意見・ご感想

〈応募締切〉
2024年12月20日(金)

〈応募先アドレス〉
cat-club-japan@cat.com



ご提供いただきました個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の商品開発・販売促進などに利用させていただきます。当社の個人情報保護方針は、当社ホームページからご覧いただけます。 <https://www.caterpillar.com/ja/legal-notices/dataprivacy.html>

LINEスタンプ販売中!



「スタンプ詳細はこちら」
キャタピラージャパン
LINE公式アカウント



友だち募集中
[ID] @caterpillar

